

高梁市地域公共交通網形成計画 各目標に対する検証(現状・分析)

○基本方針1 まちづくりと連携した持続可能な公共交通

評価指標1	公共交通空白地域の居住人口割合
具体的内容	バス停、駅から400m以上離れた地域の人口の総人口に占める割合
現在値	19% (交通空白地域居住人口 / 22年国調人口)
目標値	10%以下
検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度 22%(高梁市新総合計画後期基本計画)</li> <li>・平成27年度 19%(網形成計画) <ul style="list-style-type: none"> <li>*川面・巨瀬・中井地域の生活福祉バス導入による</li> </ul> </li> <li>・平成28年度～現在 17% <ul style="list-style-type: none"> <li>*松原地域の乗合タクシー導入による</li> </ul> </li> </ul> <p>公共交通空白地域を10%以下とする目標としていたが、現状では17%程度となっている。</p> <p>高梁市地域公共交通再編実施計画により、段階的に生活福祉バス、乗合タクシーを導入したことにより、空白地域は計画時の数値対比で2%減少。</p> <p>現在、主に旧高梁市及び有漢町において空白地域が点在している状況である。</p>

評価指標 2	公共交通に対する人口一人あたりの財政負担額																																																																																																		
具体的内容	公共交通に係る年間経費/人口																																																																																																		
現在値	7,083円/人(平成25年度支出額/22年国調人口)																																																																																																		
目標値	7,000円/人																																																																																																		
検 証	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">人口一人あたりの財政負担額</th> </tr> <tr> <th></th> <th>H25年度</th> <th>H26年度</th> <th>H27年度</th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>路線バス補助</td> <td>118,010</td> <td>122,502</td> <td>118,665</td> <td>128,500</td> <td>122,276</td> <td>124,210</td> </tr> <tr> <td>生活福祉バス</td> <td>30,947</td> <td>36,401</td> <td>41,070</td> <td>40,943</td> <td>40,006</td> <td>41,474</td> </tr> <tr> <td>乗合タクシー</td> <td>18,960</td> <td>21,004</td> <td>19,878</td> <td>19,496</td> <td>20,207</td> <td>20,901</td> </tr> <tr> <td>スクールバス</td> <td>46,718</td> <td>46,152</td> <td>44,913</td> <td>48,840</td> <td>60,693</td> <td>48,282</td> </tr> <tr> <td>遠距離通学費補助</td> <td>14,650</td> <td>14,995</td> <td>15,368</td> <td>17,138</td> <td>12,379</td> <td>10,004</td> </tr> <tr> <td>高校生通学支援</td> <td>7,622</td> <td>6,440</td> <td>6,765</td> <td>7,741</td> <td>8,699</td> <td>8,431</td> </tr> <tr> <td>高齢者外出支援</td> <td>10,740</td> <td>10,419</td> <td>10,147</td> <td>5,426</td> <td>2,386</td> <td>1,450</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>247,647</td> <td>257,913</td> <td>256,806</td> <td>268,084</td> <td>266,646</td> <td>254,752</td> </tr> <tr> <td>人口(H22年国勢調査)</td> <td>34,963</td> <td>34,963</td> <td>34,963</td> <td>34,963</td> <td>34,963</td> <td>34,963</td> </tr> <tr> <td>一人あたり財政負担額</td> <td><b>7,083</b></td> <td><b>7,377</b></td> <td><b>7,345</b></td> <td><b>7,668</b></td> <td><b>7,627</b></td> <td><b>7,286</b></td> </tr> <tr> <td>人口(各年年度末)</td> <td>33,218</td> <td>32,617</td> <td>32,054</td> <td>31,556</td> <td>30,955</td> <td>30,374</td> </tr> <tr> <td>一人あたり財政負担額</td> <td>7,455</td> <td>7,907</td> <td>8,012</td> <td>8,496</td> <td>8,614</td> <td>8,387</td> </tr> </tbody> </table>	人口一人あたりの財政負担額								H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	路線バス補助	118,010	122,502	118,665	128,500	122,276	124,210	生活福祉バス	30,947	36,401	41,070	40,943	40,006	41,474	乗合タクシー	18,960	21,004	19,878	19,496	20,207	20,901	スクールバス	46,718	46,152	44,913	48,840	60,693	48,282	遠距離通学費補助	14,650	14,995	15,368	17,138	12,379	10,004	高校生通学支援	7,622	6,440	6,765	7,741	8,699	8,431	高齢者外出支援	10,740	10,419	10,147	5,426	2,386	1,450	合 計	247,647	257,913	256,806	268,084	266,646	254,752	人口(H22年国勢調査)	34,963	34,963	34,963	34,963	34,963	34,963	一人あたり財政負担額	<b>7,083</b>	<b>7,377</b>	<b>7,345</b>	<b>7,668</b>	<b>7,627</b>	<b>7,286</b>	人口(各年年度末)	33,218	32,617	32,054	31,556	30,955	30,374	一人あたり財政負担額	7,455	7,907	8,012	8,496	8,614	8,387
	人口一人あたりの財政負担額																																																																																																		
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度																																																																																													
路線バス補助	118,010	122,502	118,665	128,500	122,276	124,210																																																																																													
生活福祉バス	30,947	36,401	41,070	40,943	40,006	41,474																																																																																													
乗合タクシー	18,960	21,004	19,878	19,496	20,207	20,901																																																																																													
スクールバス	46,718	46,152	44,913	48,840	60,693	48,282																																																																																													
遠距離通学費補助	14,650	14,995	15,368	17,138	12,379	10,004																																																																																													
高校生通学支援	7,622	6,440	6,765	7,741	8,699	8,431																																																																																													
高齢者外出支援	10,740	10,419	10,147	5,426	2,386	1,450																																																																																													
合 計	247,647	257,913	256,806	268,084	266,646	254,752																																																																																													
人口(H22年国勢調査)	34,963	34,963	34,963	34,963	34,963	34,963																																																																																													
一人あたり財政負担額	<b>7,083</b>	<b>7,377</b>	<b>7,345</b>	<b>7,668</b>	<b>7,627</b>	<b>7,286</b>																																																																																													
人口(各年年度末)	33,218	32,617	32,054	31,556	30,955	30,374																																																																																													
一人あたり財政負担額	7,455	7,907	8,012	8,496	8,614	8,387																																																																																													
	<p>地方交付税の減額、合併特例債の償還など、市の財政状況が厳しさを増すなか、増大する公共交通関連支出の抑制を喫緊の課題として、公共交通に係る年間経費を増加させないという目標であるが、平成30年度では、7,286円(平成30年度支出額/22年国勢調査人口)であり、目標値7,000円を上回る結果となっている。</p> <p>人口減少に伴い、利用者が年々減少しているなかで、運行経費や個人に対する支援・補助金等で財政負担額は増加傾向にあり、人口一人あたりの実質財政負担額は増加している。</p> <p>※H25 7,455円/人 H30 8,387円/人 (人口は各年度末の数値)</p>																																																																																																		

評価指標 3	高校生のうちバスで通学する生徒の割合																								
具体的内容	バス通学が10日/月以上の生徒の割合																								
現在値	23% (月10日以上バス通学回答者数/全回答者数: H26 高校生アンケート)																								
目標値	25%																								
検証	<p>・令和元年度現在…21%  ※公立3校、私立1校にヒアリングを実施。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>徒歩</th> <th>自転車</th> <th>電車</th> <th>バス</th> <th>自家用車</th> <th>その他</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>126</td> <td>138</td> <td>314</td> <td>203</td> <td>106</td> <td>84</td> <td>971</td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>13.0</td> <td>14.2</td> <td>32.3</td> <td>21.0</td> <td>10.9</td> <td>8.6</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>「その他」は原付、寮生等。</p> <p>市内の高校生徒数は、計画時の約1,170名から令和元年度では約990名となり、180名減少している。</p> <p>電車による通学が3割を超えるなか、次いでバス通学の割合が多くなっており、本市において高校生の通学でバスは重要な手段となっている。</p> <p>また、保護者の自家用車を主な通学手段としている場合でも、下校時間や保護者の都合によっては、バスで通学する場合が考えられる。</p> <p>小中学生のスクールバスの混乗化については、川上町の生活福祉バスで従前より実施しているものの、他地域では実現できていない。</p> <p>成羽地域の生活福祉バスは曜日運行であることと、運行時間帯が合わない。</p> <p>近年、生活福祉バスの利用者が減少しておりふれあいタクシーが主流となっているため、混乗化はもとより生活福祉バス自体の在り方を検討することが急務である。</p>	種別	徒歩	自転車	電車	バス	自家用車	その他	計	人数	126	138	314	203	106	84	971	割合	13.0	14.2	32.3	21.0	10.9	8.6	100
種別	徒歩	自転車	電車	バス	自家用車	その他	計																		
人数	126	138	314	203	106	84	971																		
割合	13.0	14.2	32.3	21.0	10.9	8.6	100																		

評価指標 4	地域公共交通サービスに関する満足度
具体的内容	アンケート調査による「高梁市の地域公共交通全般への満足度」の5段階評価の平均点 ※満足5、やや満足4、どちらでもない3、やや不満2、不満1
現 在 値	2.85 (H26 住民アンケート)
目 標 値	3.00
検 証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年住民アンケート … 3.08  回答率 43.8 パーセント(876 人/2,000 人) ※集計継続中  (876 人中、812 人が設問に回答)  同様項目によるアンケート実施</li> </ul> <p>生活福祉バス、ふれあいタクシーの一部は、病院や商業施設等を目的地として設定したため、高齢者の移動に際し利便性が向上したといえる。</p> <p>残存する公共交通空白地や地域ごとの交通体系について、不満と感じている人もいます。</p>

○基本方針2 まちの魅力を高め、人々の交流を促す公共交通

評価指標1	市街地循環線の利用者数		
具体的内容	市街地循環線の年間利用者数		
現在値	30,600人(H25年度)		
目標値	32,000人(4.6%増)		
検 証	輸送人員		
	年度	期 間	年間利用者数
	H26	H25.10~H26.9	36,017人
	H27	H26.10~H27.9	27,718人
	H28	H27.10~H28.9	25,509人
	H29	H28.10~H29.9	33,092人
	H30	H29.10~H30.9	25,767人
	R1	H30.10~R1.9	27,095人(速報値)
	<p>※事業者(備北バス)より数値提供  日輸送量：乗車密度×平均運行回数</p> <p>事業者への聞き取りによると、市街地循環線の利用者は、大学生が9割を占めており、学生数も減少しているなかで、その年の学生の通学形態により大きく変動しているものと推測される。</p> <p>再編実施計画のなかで、平成29年2月に運行ルートの変更、日曜日・祝日を含めた毎日運行としている。同計画では、日輸送量17.8人から19.4人に1.6人の増加を見込んでいたが、平成30年度の日輸送量は14.0人と、計画時より3.8人減少している状況である。</p> <p>平成31年4月より季節運行の「備中松山城路線バス」が休止となったため、観光客の利便性を踏まえた取組みが必要である。(観光乗合タクシーの利用促進)</p>		

評価指標 2	沿線の施設等と連携した公共交通の利活用
具体的内容	医療機関や商業施設と連携した公共交通利活用事例集
現在値	0件
目標値	3件
検 証	<p>・令和元年度現在 … 1件(医療機関等との連携)</p> <p>計画では、公共交通を利用した貨客輸送の事業化可能性調査やタクシー事業者と連携した救援(通院付き添い、買い物代行、薬の受け取り等)事業を検討することとしている。</p> <p>貨客輸送では、岡山県生活交通対策地域協議会が策定した「地域間幹線系統確保維持計画」のなかで、生産性向上の取り組みとして貨客混載の実施について事業者が検討したが、車輛改造や市内に大小多数の運送事業者が存在し、バス事業者が貨物輸送を行うメリットがないと判断している。</p> <p>タクシー事業者との連携では、再編実施計画のなかで平成28年10月に松原地区のふれあいタクシーを導入している。救援事業についての検討に至っていないのが実情である。</p> <p>医療機関との連携では、病院等のソーシャルワーカーや窓口職員による、公共交通機関の時刻をもとに来院者の予約調整や行き帰りの時刻をアドバイスする等、丁寧な対応が進んでいる。</p> <p>なお、公共交通としての利活用には含まれないが、事例として、民間商業施設とバス事業者が連携し、1路線2系統で運行している。この路線は、平成30年度日輸送量22.4人と好調である。</p>

評価指標 3	観光施設と連携した公共交通の魅力を高める取組						
具体的内容	観光施設と連携した交通サービス事業件数						
現在値	4件(備中松山城シャトルバス、乗合タクシー、観光タクシー、吹屋ボンネットバス)						
目標値	6件						
検 証	<p>・令和元年度現在 … 4件  「備中松山城シャトルバス」(土日祝、繁忙期運行)  「備中松山城観光乗合タクシー」(毎日運行)  「備中松山城雲海展望台観光乗合タクシー」(10月～4月中旬)  「高梁市観光周遊タクシー」(毎日運行)</p> <p>「備中松山城観光乗合タクシー」「備中松山城雲海展望台観光乗合タクシー」については、平成30年度をもって市からの補助が廃止されたものの、料金変更するなど事業者努力により継続されている。</p> <p>「備中松山城路線バス」については、備中松山城への観光客増加に伴い平成28年4月に運行開始したが、利用人数の減少により平成31年4月より休止となっている。</p> <p>備中松山城路線バス利用者数</p> <table border="0"> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,856人</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,706人</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,548人</td> </tr> </table> <p>「吹屋ふるさと村観光周遊バス」は平成28年度に備中高梁駅と吹屋ふるさと村を結ぶ路線(4～6月、日曜のみ)として、ボンネットバスにより運行したが、車輛の状態により平成31年4月より休止としている。</p>	平成28年度	1,856人	平成29年度	1,706人	平成30年度	1,548人
平成28年度	1,856人						
平成29年度	1,706人						
平成30年度	1,548人						

○基本方針3 協働による公共交通の維持・発展

評価指標1	公共交通に関する住民との情報・意見交換会
具体的内容	住民意見交換会等の開催回数
現 在 値	年間9（H26年度）
目 標 値	年間15回
検 証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度 … 7回開催</li> <li>・平成30年度 … 5回開催</li> <li>・令和元年度 … 24回開催</li> </ul> <p>※再編実施計画中の再編実施(平成28年度)以降を集計</p> <p>平成29年度については、主に松原ふれあいタクシー導入(平成28年10月)後の状況等を地域住民代表と意見交換した。また、中井地域の生活福祉バスでは、時刻の変更(軽微変更)要望に対し、地域住民代表や地域団体と意見交換を開催し、中井発便の時刻変更を行った。</p> <p>平成30年度については、「高梁市の公共交通について」と題し、地域団体への説明会を5回実施した。</p> <p>令和元年度については、「高梁市公共交通について」と題し、市内22会場で説明会を実施した。また、成羽町日名地域の団体と地域の公共交通について意見交換会を実施した。</p> <p>公共交通のモニタリング、ニーズの把握のツールとして、地域との意見交換は重要である。</p>



評価指標2	バスや乗合タクシーを利用したいと思う人の割合
具体的内容	住民アンケート調査における、バスや乗合タクシーを利用したいと思う人の割合
現在値	52%(バス等利用意向回答者数/全回答者数：H26 住民アンケート)
目標値	60%
検証	<p>・令和元年住民アンケート … 54.7%  回答率 43.8 パーセント(876 人/2,000 人) ※集計継続中  (876 人中、812 人が設問に回答)  同様項目によるアンケート実施</p> <p>住民アンケートで前回同様の設問に対し、「利用しようと思う」及び「できるだけ利用しようと思う」と回答した人は、54.7パーセントと2.4ポイント上昇したものの、目標値(60パーセント)には届かなかった。  また「利用しようと思わない」と回答した人は、17.7パーセントであった。</p> <p>アンケートからは、公共交通に対し満足度(基本方針1 評価指標4)とともに、利用したい人の割合も上昇しているものの、公共交通の利用者は減少していることから、「現在は、自身で移動手段があるものの、将来、地域に公共交通があればいい(利用しようと思う)」という保険的な位置付けとなっている場合があると推測される。</p>

評価指標 3	公共交通の利用者数																				
具体的内容	路線バス、生活福祉バス、乗合いタクシーの利用者数																				
現在値	路線バス：日輸送量 163,4人 生活福祉バス・乗合タクシー：年間 15,619人																				
目標値	路線バス：日輸送量 157人 生活福祉バス・乗合タクシー：年間 15,000人																				
検 証	<p>※路線バスについて、現在値、目標値の日輸送量(乗車密度×平均運行回数)は、実際の利用者数ではなく乗降量調査(年間の数日間実施)の値から推計したものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路線バス 令和元年度 … 146,7人 ※資料はバス事業者提供</li> <li>・生活福祉バス・乗合タクシー</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>27</th> <th>28</th> <th>29</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活福祉バス</td> <td>8,362</td> <td>8,724</td> <td>8,618</td> <td>6,646</td> </tr> <tr> <td>乗合タクシー</td> <td>8,254</td> <td>7,991</td> <td>7,410</td> <td>6,747</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16,616</td> <td>16,715</td> <td>16,028</td> <td>13,393</td> </tr> </tbody> </table> <p>路線バスの日輸送量については、平成30年度時点の29系統について146,7人となり、目標値を下回っている。</p> <p>生活福祉バス、乗合いタクシーについては、平成29年度までは年間16,000人を超えていたものの、平成30年度は13,393人と急激に減少している。</p> <p>【利用者減少の要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化による人口減少</li> <li>・元々、運転免許証を持たない高齢者の減少</li> <li>・運転免許証保有者が多い状況が続いている ⇒新規利用者が増えない状況が続いている</li> </ul>		27	28	29	30	生活福祉バス	8,362	8,724	8,618	6,646	乗合タクシー	8,254	7,991	7,410	6,747	計	16,616	16,715	16,028	13,393
	27	28	29	30																	
生活福祉バス	8,362	8,724	8,618	6,646																	
乗合タクシー	8,254	7,991	7,410	6,747																	
計	16,616	16,715	16,028	13,393																	

目標に対する達成度 一覧表

【達成度の評価基準】 計算方法：(原則)達成率＝実績値／目標値、目標値／実績値

5：達成度 100%以上、4：達成度 75%以上 100%未満、3：達成度 50%以上 75%未満、2：達成度 25%以上 50%未満、1：達成度 25%未満

		現在値(計画時)	目標値	実績値	達成度
<b>基本方針 1</b> まちづくりと 連携した持続 可能な公共交 通	評価指標 1 公共交通空白地域の居住人口割合	19%	10%以下	17%	3
	バス停から 400m 以上離れた人口の総人口に占める割合				58.8%
	評価指標 2 公共交通に対する人口一人あたりの財政負担額	7,083 円/人	7,000 円/人	8,387 円/人	1
	公共交通に係る年間経費/人口				—
評価指標 3 高校生のうちバスで通学する生徒の割合	23%	25%	21%	1	
バス通学が 10 日/月以上の生徒の割合				—	
評価指標 4 地域公共交通サービスに関する満足度 O	2.85	3.00	3.08	5	
アンケート調査による 5 段階評価の平均点				102.7%	
<b>基本方針 2</b> まちの魅力を 高め、人々の交 流を促す公共 交通	評価指標 1 市街地循環線の利用者数	30,600 人	32,000 人	27,095 人	1
	市街地循環線の年間利用者数				—
	評価指標 2 沿線の施設等と連携した公共交通の利活用	0 件	3 件	1 件	2
医療機関や商業施設と連携した公共交通利活用事例数	33.3%				
評価指標 3 観光施設と連携した公共交通の魅力を高める取組	4 件	6 件	4 件	3	
観光施設と連携した交通サービス事業件数				66.7%	
<b>基本方針 3</b> 協働による公 共交通の維 持・発展	評価指標 1 公共交通に関する住民との情報・意見交換	年間 9 回	年間 15 回	12 回 (3 年平均)	4
	住民意見交換会等の開催回数				80.0%
	評価指標 2 バスや乗合タクシーを利用したいと思う人の割合	52%	60%	54.7%	4
アンケート調査における利用したいと思う人の割合	91.2%				
評価指標 3 公共交通の利用者数	路 163.4 人 生・乗 15,619 人	路 157.0 人 生・乗 15,000 人	路 146.7 人 生・乗 13,393 人	1	
路線バス、生活福祉バス・乗合タクシーの利用者数				—	

## 高梁市地域公共交通網形成計画の目標達成状況・アンケート結果から見えた課題等

### ○地域公共交通サービスに関する満足度

(課題) [現計画：基本方針1 評価指標4、基本方針2 評価指標1]

- ・目標値は達成したものの、より利便性を高める必要がある

(改善策)

- ・現行の交通体系の経路、便数、時間等を効率性の観点から見直し

### ○持続可能な交通体系の実現

(課題) [現計画：基本方針1 評価指標1・2]

- ・財政負担額の増加

(改善策)

- ・タクシー等の利用券制度の導入等により、公共交通空白地の解消を図る。
- ・見直し基準の再検討とともに、該当した場合のスキームを具体化し、路線の再編を加速化
- ・事業者への補助制度の見直し

### ○医療、商工、観光との連携

#### ①医療機関との連携

(課題) [現計画：基本方針2 評価指標2]

- ・高梁市医療計画との整合性

(改善策)

- ・病院等への通院手段の詳細な実態把握とニーズ調査
- ・医療機関における更なるサービス充実(例：医療機関従事者の公共交通への理解を高める)

#### ②商工、観光との連携

(課題) [現計画：基本方針2 評価指標3]

- ・インバウンドを含めた観光客や商業施設と連携した公共交通体系

(改善策)

- ・経済効果を高めるため、商業施設等と連携した路線等を検討

### ○公共交通に対する市民意識の向上

(課題) [現計画：基本方針3 評価指標1～3]

- ・運転免許保有率が高く、公共交通に対する市民意識が高いとはいえない

(改善策)

- ・地域団体との意見交換会、説明会の実施
- ・行政放送や広報紙等による広報や、事業者と連携し利用促進等の強化